

上場会社名 昭和産業株式会社  
コード番号 2004

上場取引所 東証、大証第1部  
本社所在都道府県 東京都

(URL <http://www.showa-sangyo.co.jp>)

代表者 代表取締役社長 福井 茂雄

問合せ先 総務人事部長 小川 敏郎

TEL (03) 3257-2011

中間決算取締役会開催日 平成15年11月25日

米国会計基準採用の有無 無

### 1. 15年9月中間期の連結業績(平成15年4月1日~平成15年9月30日)

(1) 連結経営成績 (注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しています。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
15年9月中間期	89,983	1.5	2,348	37.9	2,219	76.5
14年9月中間期	91,332	0.7	1,703	8.5	1,257	39.0
15年3月期	182,947		2,640		2,016	

	中間(当期)純利益		1株当たり中間(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
15年9月中間期	818	23.4	4.58		-	
14年9月中間期	663	24.7	3.71		-	
15年3月期	731		4.17		-	

(注) 持分法投資損益 15年9月中間期 39百万円 14年9月中間期 58百万円 15年3月期 97百万円  
期中平均株式数(連結) 15年9月中間期 178,733,846株 14年9月中間期 178,938,718株 15年3月期 177,132,048株  
会計処理の方法の変更 無  
売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

### (2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
15年9月中間期	143,166	42,736	29.9	236.60
14年9月中間期	146,794	41,874	28.5	238.20
15年3月期	145,496	40,119	27.6	228.96

(注) 期末発行済株式数(連結) 15年9月中間期 180,629,968株 14年9月中間期 175,793,754株 15年3月期 175,199,011株

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
15年9月中間期	2,940	1,437	2,514	2,857
14年9月中間期	3,293	3,408	780	3,214
15年3月期	7,225	6,612	853	3,868

### (4) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 10社 持分法適用非連結子会社数 0社 持分法適用関連会社数 2社

### (5) 連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) 0社 (除外) 0社 持分法(新規) 0社 (除外) 0社

### 2. 16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	182,000	3,600	1,400

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 7円75銭

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。上記の業績予想に関する事項は、添付資料9ページの「通期の見通し」を参照ください。

## 1. 企業集団の状況

当グループは、当社、子会社20社および関連会社10社により構成されており、小麦粉、植物油、ぶどう糖、冷凍食品等の食品と飼料の製造販売を主な内容とし、ほかに倉庫業、不動産の賃貸、運輸、外食等の事業を行っています。

当グループの事業に係わる位置づけ、及び事業の種類別セグメントとの関連は、次の通りであります。

### (食品事業)

当社は、小麦粉、植物油、ぶどう糖・水飴、二次加工食品等の製造販売を行っており、連結子会社昭産商事(株)及び非連結子会社1社は当社製品を購入し販売しております。連結子会社敷島スタ-チ(株)および関連会社1社はコ-ンスタ-チ、ぶどう糖の製造販売を、連結子会社木田製粉(株)および(株)内外製粉は小麦粉の製造販売を行い、当社はその製品の一部を購入し販売しています。非連結子会社(株)菜花堂は当社から小麦粉を購入し和菓子等の製造販売を、連結子会社昭和冷凍食品(株)および関連会社2社は冷凍食品等食品の製造販売を行い、当社はその製品を購入し販売しています。非連結子会社スワンデザート(株)は洋菓子の製造を行い、非連結子会社(株)ファミリーフーズは餃子等の食品の製造販売を行っています。また、非連結子会社(株)オ-パン他1社および関連会社1社は、スパゲッティ、たい焼き等を中心にチェ-ン展開を行っています。

なお、上記以外の会社で食品事業を営んでいる関連会社は1社であります。

### (飼料事業)

当社および連結子会社九州昭和産業(株)は、配合飼料の製造販売、畜産物等の販売を行っており、連結子会社昭産商事(株)は、当社製品を購入し販売しています。連結子会社昭和鶏卵(株)は鶏卵の洗卵・選別を行っており、当社はその製品を購入し販売しています。関連会社鹿島飼料(株)には、配合飼料の生産を委託しています。

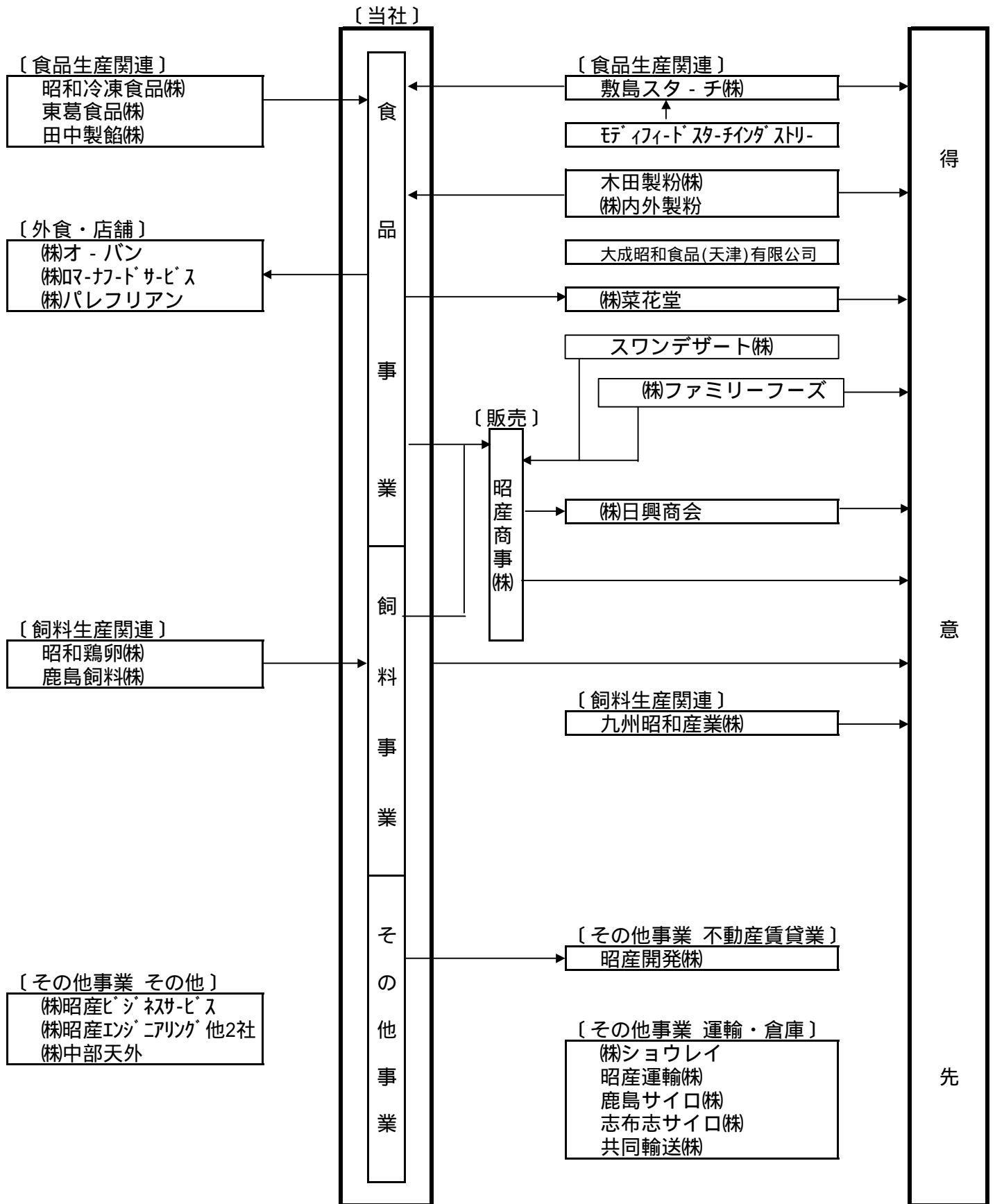
### (その他事業)

当社および関連会社鹿島サイロ(株)他1社は当社他穀物の荷役・保管を、連結子会社(株)ショウレイは当グループの冷凍食品他の保管を行っており、非連結子会社昭産運輸(株)および関連会社1社は当社製品の輸送を行っています。

また、当社および連結子会社昭産開発(株)は建物等の賃貸業を、連結子会社(株)昭産ビジネスサ-ビスは当社の関係会社に対し金銭による貸付を含む経営コンサルタント業を行っています。

なお上記以外の会社で、その他事業を営んでいる非連結子会社は3社であり、関連会社は1社であります。

事業の系統図は以下の通りであります。



= 連結子会社      = 非連結子会社      = 持分法適用会社      = 関連会社  
→ = 製品及び役務の流れを示している

## 2. 経営方針

### (1) 会社の経営の基本方針

昭和産業グループは、天地・自然の恵みを元として、「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」ことを企業理念としております。

穀物を原料とする食品素材を軸にした総合加工食材メーカーとして、これまで培ってきた製粉、油脂、ぶどう糖、飼料畜産の各事業における技術やノウハウを最大限発揮していくことにより、「市場に価値を認められる、安全で安心できる加工食材を安定的に供給する」という社会的使命を果たしてまいります。

当社経営につきましては、前経営計画に引き続き『常に市場を重視し、お客様にとっての「ベスト・パートナー」となる』ことを目指し、本年4月より新3ヵ年計画「SHOWA-ism(イスマ)計画」をスタートしております。「SHOWA-ism(イスマ)計画」においては「収益性の向上」「透明性の向上」「社員の質的向上」を経営方針とし、具体的には 利益率重視、 シナジー効果（「粉+油」等の相乗効果）の発揮、 コスト競争力の強化（経費率低減） 責任ある社会の一員としての行動 環境変化への対応、の4点を基本戦略に据えております。

顧客志向を再認識する姿勢を社内外に対し明確に打ち出し、当社企業理念の飽くなき追求に努めてまいります。

### (2) 会社の利益配分に関する基本方針

昭和産業グループでは、経営基盤安定化のより一層の推進を図るとともに、配当につきましては長期的に安定した配当を継続することを基本方針としてまいりました。

今後も長期的な安定配当を念頭に置きつつ、「各期の連結業績に応じた利益配分」を基本方針として実施してまいります。なお平成16年3月期より、中間配当と期末配当を統合し期末に一本化してお支払いすることとしております。

### (3) 中長期的な会社の経営戦略および会社の対処すべき課題

企業を取り巻く経営環境は依然として厳しいものがありますが、このような環境の下、本年4月より新中期経営計画「SHOWA-ism(イスマ)計画」をスタートしております。過去に実施してきた中期経営計画での経験を生かし、より具体的でわかりやすく、目指すべき方向性を明確にしております。また当計画では「結果の検証を確実に実行する」をキーワードとし、社内に検証の「仕組み」を確立させるべく、個々の課題につき当該部署と定期的に精査を実施してまいります。今計画におけるこれらの目標を3年後に確実に達成できるよう全社一丸となって最後まで努力していくことが、昭和産業グループの体質強化につながると同時に、グループ全体の企業価値を高めていくものであると確信しております。

## 利益率重視

多岐にわたる当社の取り扱い品目のうち、各事業における注力商品（高付加価値カテゴリー）を明確にした戦略的営業活動を実施し、その検証を確実にこなすことにより、「SHOWA-ism(イずム)計画」の経営方針に掲げている「収益性の向上」の達成に向け、安定した収益構造を持った企業となることを目指します。

## シナジー効果（「粉＋油」等の相乗効果）の発揮

昭和産業グループの強みを最大限発揮するため、専門メーカーにはない多岐にわたる商材を扱うメリットを活かし、これらの組み合わせによって生み出される加工度の高い新たな付加価値製品を継続的に提供することを目指します。製品群のみならず、販売面や生産および技術面、あるいは配送面など様々な場面でのシナジー（相乗）効果の発揮を目指してまいります。

## コスト競争力の強化（経費率低減）

販管費、製造原価の継続的な低減を目指します。「無駄を省く」ことを強く意識し、「組織のフラット化」によるコストダウンなどの施策を今後も積極的に行なってまいります。また製造・販売双方の協力体制のもと、棚卸資産の推移を注視し在庫削減に努めることによりキャッシュフローの改善を目指し、さらなる企業体質の強化に努めてまいります。

## 責任ある社会の一員としての行動 環境変化への対応

当社経営理念の追求を常に意識した重要な戦略と位置付けております。「収益性の向上」を追いつづけるあまり様々なルールを守らなければ、企業の存続自体が危うくなってしまいます。そのようなことがないよう、「収益性の向上」と「透明性の向上」とが牽制し合う、バランスの取れた企業活動を行なうことを意識してまいります。

上記4点の基本戦略の達成に向け、今中間期に実施および計画しております諸施策は以下の通りです。

一般消費者の視点とユーザーニーズを中心に、新規の製品および既存製品改良のためのアイデアを創り、関連部署に提案し実現することを目的として「新製品創出委員会」を10月より発足致しました。昭和産業の持つ原料・設備・技術のシナジーを生かせるアイテムを中心に検討を進め、既存組織を超えた社内選出委員により構成されるメンバーにて実施することで、アイデアの蓄積と新製品の継続的な創出を目指してまいります。当社製品の安心・安全・透明性の確保および徹底を図るために、お客様の立場を最優先とした視点で、当社製品および製品に関わる当社の品質保証関連業務すべての指導・監視・監督を行なうことを目的として「製品法令・表示監視委員会」を、さらにその事務局として「製品法令・表示監視室」をそれぞれ10月より新設致しました。

「製品法令・表示監視室」は専任部署として新製品およびリニューアル品のチェック、委員会の運営、招聘する社外アドバイザー等についての企画、製品の安心・安全に関する社内基準の作成、法律などの専門知識に関するスキル習得や情報収集などを実施してまいります。また「製品法令・表示監視委員会」につきましては、「お客様の視点」をより徹底するために社外アドバイザーを適宜招き、貴重なアドバイスを頂きながら運営していくこととしております。

当社各営業部にて、徹底したカテゴリー別採算管理を開始しております。中でも高付加価値カテゴリーと位置付けられた製品については集中的に販売活動を実施し、収益性の向上を目指して販売ウエイトのシフトを進めております。

以上、原料相場に左右されない企業体質への改善を目指し、上記基本戦略4項目を実施しつつ、合わせて諸施策の「検証」を確実に実行することにより、効率性を追求した企業活動を行なってまいります。

昭和産業グループ全体が経営資源を効率よく活用し、キャッシュフローを生み出すことで、株主・顧客・社員に対し最大限の利益の還元を行なってまいります。

#### (4) コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方と施策の実施状況

昭和産業グループでは、経営環境の急激な変化に速やかに対応できる体制を確立し、また経営の透明性をより高めるために、コーポレート・ガバナンス強化を大変重要な経営課題と位置付けております。

経営と執行の分離を目的として平成11年6月より執行役員制度を導入致しました。また本年4月よりスタートした新中期経営計画「SHOWA-ism(イズム)計画」において、経営方針の一つに「透明性の向上」を掲げ、法令遵守の社内徹底を含めた諸施策の実施を推進しております。株主・投資家の皆様に対してはホームページ上での迅速な情報開示を行っております。

当社経営体制は、取締役6名、監査役4名(社外含む)執行役員14名であります。

取締役会は、業務執行における重要な意思決定を司り、取締役・監査役の参加により原則月1回実施しております。また取締役会参加メンバーに加え、全執行役員が参加する経営役員会を月1回、監査役4名が参加する監査役会を月1回実施しております。さらに、月2回実施しております経営会議は取締役及び監査役をメンバーとし、主要案件につき十分な検討を行っております。

役員会や会議を効率よく運営するため、製品安全委員会、環境管理委員会、投融資検討委員会、コンプライアンス委員会、その他関係部署を集めた臨時委員会(随時)などを、下部組織の各種委員会として設置しております。これら各種委員会を確実に機能させることが、社会から信頼される企業づくりに向け、それぞれの課題に対応するものであると考えております。

コーポレート・ガバナンスの充実にに向けた取り組みの一つとして、変化の激しい経営環境に機敏に対応し、また企業活動の迅速化を図ることを目的に、取締役の任期を2年から1年に短縮しております。

昭和産業グループでは、将来に向けた企業価値の継続的向上を目指してまいります。

### 3. 経営成績及び財政状態

#### 1. 経営成績

当中間連結会計期間の我が国経済は、企業の収益の改善や株式相場の上昇など景気回復の兆しがみられましたものの、高い失業率や所得の減少などにより個人消費が低迷するなど、依然として厳しい状況のまま推移しました。

食品業界におきましては、消費マインドの冷え込みにより需要が低迷し、企業や商品に対する消費者の選別の目がより厳格になるなど、経営環境は予断を許さない状況が続きました。

このような状況の中で、当グループは高付加価値商品への販売シフトや原料コストに見合った販売価格の改定など収益性の向上を図るとともに、製造・販売が一体となった銘柄の見直しや製品の安全性の確保を徹底するなど経営基盤の強化に努めてまいりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は899億83百万円と、前中間連結会計期間に比べ13億48百万円（1.5%）の減収となりましたが、経常利益は22億19百万円と前中間連結会計期間に比べ9億62百万円（76.5%）の増益となりました。また、中間純利益につきましては、8億18百万円と前中間連結会計期間に比べ1億55百万円（23.4%）の増益となりました。

#### セグメントの状況

##### < 食 品 事 業 >

食品事業は、穀物相場が高値で推移し原料コスト面で増加傾向にある厳しい環境にあったものの、高付加価値商品への販売シフトや収益性を重視した販売活動を展開した結果、当中間連結会計期間の売上高は664億65百万円と、前中間連結会計期間に比べ85百万円（0.1%）の減収となりましたが、営業利益は12億24百万円と前中間連結会計期間に比べ7億75百万円（172.4%）の増益となりました。

##### 製 粉

小麦粉の販売数量は、需要が伸び悩むなかで積極的な提案型営業活動を行った結果、小麦粉調製品の輸入増加の影響はありましたが、前年同期を上回りました。プレミックス類は、新製品の投入やベーカリーセミナーの開催などの販売促進活動を進め、バターミックス（総菜用プレミックス）を中心に販売数量を伸ばすことが出来ました。ふすまなどの販売数量も前年同期を上回りました。また、前期より小麦粉周辺食材として販売を開始いたしました加工油脂の販売数量も前年同期を上回りました。

これらの結果、売上高は192億43百万円と前年同期を上回りました。

##### 油 脂

食用油の需要低迷が続く中で、油脂原料の大豆・菜種は世界的な需要増に支えられ高値圏に留まり、油脂の販売は採算・収益の改善を最優先で行ないました。その結果、販売数量全体では前年同期を下回りましたが、プレミアムオイル、機能性油脂の販売や、ミニタンクの展開を積極的に行ない、これらについては前年同期を上回りました。業務用食材では、収益性の高い天ぷら粉について新規ルートへの拡販を積極的に行ない、販売数量が前年同期を上回ったものの、全体としては前年同期を若干下回りました。

これらの結果、売上高は187億89百万円と前年同期を下回りました。

##### ぶ どう 糖

糖化製品は、発泡酒用を含む水あめの出荷が前年同期を上回ったことから、冷夏による清涼飲料向け異性化糖の出荷が不調であったものの、販売数量は前年同期を上回りました。乾燥でん粉は、ビール向けが減少したものの、食品加工用でん粉が順調に推移した結果、販売数量は前年同期を上回りました。

これらの結果、売上高は117億56百万円と前年同期を若干上回りました。

## 家庭用食品

家庭用食品部門はより収益性の高い製品への販売シフトを図りました。食用油の販売数量は、健康油「オレインリッチ」が順調に伸長したものの大容量サラダ油類は採算重視の販売を行ったため、販売数量は前年同期を下回りました。家庭用小麦粉二次加工品の販売数量は主力の天ぷら粉に加え、加糖ミックス、無糖ミックス類を積極的に拡販しましたが、汎用小麦粉など収益性の低い製品は縮小したため、前年同期を下回りました。ギフトセットの販売数量は、採算重視の銘柄見直しを行なったため前年同期を下回りました。家庭用米の販売数量は、採算重視の販売を行ったため、前年同期を下回りました。

これらの結果、売上高は151億23百万円と前年同期を下回りました。

## 冷凍食品

冷凍食品部門は、不況により外食産業が伸び悩む厳しい環境のなかで、販売銘柄の整理を進めるなど採算を重視した販売活動を行いました。この結果、販売数量が前年同期を下回ったため、売上高は15億52百万円と前年同期を下回りました。

## <飼料事業>

配合飼料の販売数量は、採算を重視しつつ積極的な販売活動を展開しましたが、前年同期を下回りました。飼料販売価格は穀物相場が堅調に推移したため前年同期を上回りました。

鶏卵の販売数量は、業務用を中心に販売活動を積極的に展開したものの、前年同期を下回りました。鶏卵販売価格は鶏卵市況の低下により前年同期を下回りました。

これらの結果、売上高は202億74百万円と前中間連結会計期間に比べ8億38百万円(4.0%)の減収となりました。営業利益は、配合飼料で穀物相場の上昇などによる原料コストの増加があったものの、製品価格の値上げや製造固定費の削減などにより前年同期を上回りましたが、畜産物の販売価格が前年同期を下回った影響もあり、90百万円と前中間連結会計期間に比べ17百万円(24.7%)の増益に留まりました。

## <その他事業>

その他事業のうち、倉庫部門は輸入穀物の獲得競争が厳しい状況のなかで、積極的な営業活動を行いました。荷役量、保管積数は前年同期を下回り、売上高は前年同期を下回りました。不動産部門では、賃料引下げ要求があるなかで積極的な営業活動を行った結果、売上高は前年同期を若干上回りました。

これらの結果、その他事業の売上高は32億43百万円と前中間連結会計期間に比べ4億24百万円(11.6%)の減収となり、営業利益もコスト削減に努めましたものの18億14百万円と前中間連結会計期間に比べ2億23百万円(11.0%)の減益となりました。

## 通期の見通し

今後の我が国経済は、企業業績の好転や設備投資の回復などが見込まれるものの、改善の兆しが見えない雇用状況や米国経済の先行きの不透明感から、本格的な景気回復にはなお時間を要するものと予想されます。

当グループといたしましては、中期経営計画「SHOWA - ism (イズム) 計画」に基づき、社会的責任である環境保全への取組みに努めるとともに、製品の安心・安全、経営の透明性の向上や高付加価値商品の開発・販売に引き続き注力し、「お客様にとっての“ベストパートナー”となる」よう、全力を傾ける所存でございます。

現時点での通期（平成16年3月期）の業績は、売上高1,820億円、経常利益36億円、当期純利益14億円を見込んでおります。

## 2. 財政状態

### （キャッシュ・フロー - 計算書）

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益19億61百万円に減価償却費等の調整を加えた結果、29億40百万円の資金を得ることができましたが、前中間連結会計期間との比較では3億53百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、投資有価証券や有形固定資産の取得の減少により、前中間連結会計期間に比べ19億70百万円支出が減少し、14億37百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、フリー・キャッシュ・フローで得た資金15億2百万円を原資として借入金の返済を行なった結果、25億14百万円の支出となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、28億57百万円となりました。

### （財政状態に関する指標の推移）

項目	平成15年9月期	平成15年3月期	平成14年3月期	平成13年3月期
自己資本比率	29.9%	27.6%	28.5%	30.1%
時価 <sup>△</sup> - スの 自己資本比率	28.8%	27.8%	26.5%	23.1%
インタレスト・ カバレッジ・レシオ	11.9倍	12.5倍	12.9倍	9.4倍

各指標の基準は下記のとおりです。いずれも連結ベ - スの財務数値により計算しております。

自己資本比率：自己資本 / 総資産

時価ベ - スの自己資本比率： 株式時価総額 / 総資産

インタレスト・カバレッジ・レシオ： 営業キャッシュ・フロー / 利払い

株式時価総額： 決算期末日の株価終値 × 期末発行済株式数（自己株式控除後）

決算期末日の終値： 平成15年9月期 228円

平成15年3月期 231円

平成14年3月期 220円

平成13年3月期 192円

営業キャッシュ・フロー： 連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フロー

利払い： 連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額

### 通期の見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

## 4 - ( 1 ) . 中間連結貸借対照表

『資産の部』

(百万円未満切捨て)

科 目	当中間連結会計年度 (平成15年9月30日)	前連結会計年度 (平成15年3月31日)	増 減	前中間連結会計年度 (平成14年9月30日)
資 産 の 部	143,166	145,496	2,330	146,794
流 動 資 産	48,561	50,389	1,828	48,441
現金及び預金	2,907	3,868	961	3,214
受取手形及び売掛金	24,844	25,908	1,064	25,767
たな卸資産	18,011	17,283	727	16,024
繰延税金資産	736	1,591	854	1,202
その他	2,349	1,982	367	2,465
貸倒引当金	287	245	42	232
固 定 資 産	94,604	95,106	501	98,352
有形固定資産	79,419	81,300	1,881	82,583
建物及び構築物	38,236	39,024	788	39,342
機械装置及び運搬具	19,286	20,257	970	20,982
土地	20,636	20,729	93	20,727
建設仮勘定	35	94	58	202
その他	1,225	1,195	30	1,328
無形固定資産	515	454	60	486
投資その他の資産	14,670	13,351	1,318	15,283
投資有価証券	11,009	9,403	1,605	11,120
長期貸付金	2,731	2,839	108	2,966
固定化営業債権	442	442	0	578
繰延税金資産	375	547	172	592
その他	1,606	1,602	3	1,647
貸倒引当金	1,494	1,484	10	1,621
資 産 合 計	143,166	145,496	2,330	146,794

(自己株式消却)

消却株式数(単位:株)	-	1,403,000	1,403,000	1,403,000
株式の取得価額の総額	-	319	319	319

## 4 - ( 1 ) . 中間連結貸借対照表( 続き )

『負債・資本の部』

( 百万円未満切捨て )

科 目	当中間連結会計年度 (平成15年9月30日)	前連結会計年度 (平成15年3月31日)	増 減	前中間連結会計年度 (平成14年9月30日)
負 債 の 部	99,141	104,064	4,923	103,493
流 動 負 債	65,924	68,866	2,942	67,378
支払手形及び買掛金	12,876	15,227	2,351	12,447
短 期 借 入 金	36,593	34,261	2,331	36,719
コマ-シャルハ°-ハ°-	5,500	9,200	3,700	5,800
未 払 法 人 税 等	256	171	85	343
未 払 費 用	3,178	2,651	527	2,994
預 り 金	2,614	2,575	39	2,610
賞 与 引 当 金	946	1,021	74	1,081
設備関係支払手形	1,646	1,414	231	2,988
そ の 他	2,311	2,343	32	2,392
固 定 負 債	33,217	35,197	1,980	36,115
長 期 借 入 金	19,976	21,813	1,837	22,174
繰 延 税 金 負 債	3,758	3,119	638	3,488
退 職 給 付 引 当 金	4,027	4,443	415	4,523
役員退職慰労引当金	694	917	222	848
連 結 調 整 勘 定	59	65	6	13
そ の 他	4,700	4,836	136	5,066
少 数 株 主 持 分	1,288	1,312	23	1,426
資 本 の 部	42,736	40,119	2,616	41,874
資 本 金	12,778	12,778	-	12,778
資 本 剰 余 金	9,007	8,970	36	8,970
利 益 剰 余 金	19,517	19,231	286	21,154
その他有価証券評価差額金	1,438	335	1,102	39
自 己 株 式	4	1,195	1,191	1,068
負債、少数株主持分 及び資本合計	143,166	145,496	2,330	146,794

## 4 - ( 2 ) . 中間連結損益計算書

(百万円未満切捨て)

科 目	当中間連結会計期間 (平成15年4月1日～ 平成15年9月30日)	前中間連結会計期間 (平成14年4月1日～ 平成14年9月30日)	増 減	前連結会計年度 (平成14年4月1日～ 平成15年3月31日)
売 上 高	89,983	91,332	1,348	182,947
売 上 原 価	72,644	74,285	1,641	150,025
売 上 総 利 益	17,339	17,046	292	32,921
販売費及び一般管理費	14,990	15,343	353	30,281
営 業 利 益	2,348	1,703	645	2,640
営業外収益	574	539	35	1,152
受取利息及び配当金	117	122	5	178
連結調整勘定の償却額	6	1	4	3
持分法による投資利益	39	58	18	97
そ の 他	410	356	54	873
営業外費用	704	984	280	1,776
支 払 利 息	231	307	76	543
退 職 給 付 費 用	352	455	102	842
そ の 他	120	221	101	391
経 常 利 益	2,219	1,257	962	2,016
特 別 利 益	7	185	178	199
固定資産売却益	-	185	185	199
投資有価証券売却益	7	-	7	-
特 別 損 失	264	167	96	3,233
固定資産廃棄損	66	112	45	277
固定資産売却損	12	-	12	-
投資有価証券売却損	-	-	-	476
特別退職金	136	-	136	-
子会社整理損	-	25	25	25
厚生年金基金代行部分返上損	-	-	-	66
投資有価証券評価損	48	19	29	2,162
出資金評価損	-	11	11	17
前期損益修正損	-	-	-	207
税金等調整前中間(当期)純利益	1,961	1,275	686	1,017
法人税、住民税及び事業税	247	336	88	400
法人税等調整額	911	237	674	675
少数株主損失	16	-	16	11
少数株主利益	-	38	38	-
中間(当期)純利益	818	663	155	731

4 - ( 3 ) . 中間連結剰余金計算書

(百万円未満切捨て)

摘 要	当中間連結会計期間 (平成15年4月1日～ 平成15年9月30日)	前中間連結会計期間 (平成14年4月1日～ 平成14年9月30日)	前連結会計年度 (平成14年4月1日～ 平成15年3月31日)
<b>資本剰余金の部</b>			
資本剰余金期首残高	8,970	9,290	9,290
資本準備金期首残高		9,290	9,290
資本剰余金増加高	36	-	-
自己株式処分差益	36	-	-
資本剰余金減少高	-	319	319
自己株式消却額	-	319	319
資本剰余金中間期末(期末)残高	9,007	8,970	8,970
<b>利益剰余金の部</b>			
利益剰余金期首残高	19,231	20,973	20,973
連結剰余金期首残高		20,973	20,973
利益剰余金増加高	818	748	85
中間(当期)純利益	818	663	-
連結子会社除外による剰余金増加額	-	85	85
利益剰余金減少高	532	568	1,827
中間(当期)純損失	-	-	731
配当	525	546	1,073
役員賞与	6	22	22
(うち監査役分)	(1)	(2)	(2)
利益剰余金中間期末(期末)残高	19,517	21,154	19,231

4 - (4).中間連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨て)

科 目	期 別		増 減	前連結会計年度 (平成 14年 4月 1日 ~ 平成 15年 3月 31日)
	当中間連結会計期間 (平成 15年 4月 1日 ~ 平成 15年 9月 30日)	前中間連結会計期間 (平成 14年 4月 1日 ~ 平成 14年 9月 30日)		
営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 税金等調整前中間 (当期) 純利益	1,961	1,275	686	1,017
2. 減価償却費	3,030	3,224	194	6,588
3. 連結調整勘定償却額	6	1	4	3
4. 退職給付引当金の増減額	415	7	408	87
5. 役員退職慰労引当金の増減額	222	245	23	177
6. 貸倒引当金 (貸倒による貸付金減少額を含む) の増加額	52	4	47	14
7. 受取利息及び受取配当金	117	122	5	178
8. 支払利息	231	307	76	543
9. 為替差損益	51	56	4	120
10. 持分法による投資利益	39	58	18	97
11. 有形固定資産売却損益 評価損	79	73	153	78
12. 有価証券及び投資有価証券の売却損益 評価損	41	19	21	2,639
13. 前期損益修正損	-	-	-	207
14. 売掛債権の増減額	1,064	2,559	1,494	2,210
15. たな卸資産の増減額	727	270	457	1,528
16. 仕入債務の増減額	1,773	2,491	718	400
17. 役員賞与の支払額	6	30	23	30
小計	3,099	4,033	934	8,641
18. 利息及び配当金の受取額	168	166	2	247
19. 利息の支払額	247	309	61	576
20. 法人税等の支払額	162	194	31	430
21. その他	82	403	485	657
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,940	3,293	353	7,225
投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 定期預金の預入による支出	50	-	50	-
2. 有価証券売却による収入	-	89	89	149
3. その他短期投融資に係る支出	72	65	6	52
4. 投資有価証券取得による支出	46	504	458	1,010
5. 投資有価証券売却による収入	271	22	248	248
6. 有形固定資産の取得による支出	1,564	3,476	1,911	6,502
7. 有形固定資産の売却による収入 (撤去費含む)	101	239	138	262
8. 有形固定資産の廃棄による支出 (撤去費含む)	12	17	4	56
9. その他長期投融資に係る支出	199	20	178	145
10. その他長期投融資に係る収入	134	323	189	494
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,437	3,408	1,970	6,612
財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 短期借入金 (コマーシャルペーパーを含む) の増減額	4,510	5,600	10,110	9,450
2. 長期借入金の調達による収入	2,500	6,500	4,000	8,500
3. 長期借入金の返済による支出	1,195	941	254	6,210
4. 社債の償還による支出	-	10,000	10,000	10,000
5. 配当金の支払額	525	546	20	1,073
6. 少数株主への配当金の支払額	10	10	0	10
7. 自己株式の取得による支出	4	1,382	1,378	1,509
8. 自己株式の売却による収入	1,231	-	1,231	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,514	780	1,733	853
現金及び現金同等物の減少額	1,011	895	116	240
現金及び現金同等物の期首残高	3,868	4,139	270	4,139
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	29	29	29
現金及び現金同等物の中間期末 (期末) 残高	2,857	3,214	357	3,868

#### 4 - (5) . 中間連結財務諸表作成のための基本となる事項

##### 1 . 連結の範囲に関する事項

- (1)連結子会社 10社 昭産商事(株)、敷島スタ - チ(株)、九州昭和産業(株)、木田製粉(株)、(株)内外製粉、昭和冷凍食品(株)、昭産開発(株)、(株)ショウレイ、昭和鶏卵(株)、(株)昭産ビジネスサ - ビス
- (2)非連結子会社 10社 これらの非連結子会社は、いずれも小規模であり、合計の総資産、売上高、中間純損益及び利益剰余金(持分に見合う額)等は、いずれも中間連結財務諸表に重要な影響を及ぼしておりません。

##### 2 . 持分法の適用に関する事項

- (1)持分法適用会社 2社 鹿島サイロ(株)、志布志サイロ(株)
- (2)持分法非適用会社 18社

持分法非適用会社については中間連結純損益及び連結利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、かつ全体としても重要性がないため、これらの会社に対する投資勘定については、持分法を適用せず原価法により評価しています。

##### 3 . 連結子会社の中間決算日等に関する事項

連結子会社のうち、木田製粉(株)、(株)内外製粉、昭和冷凍食品(株)、昭和鶏卵(株)の中間決算日は6月30日、昭産開発(株)の中間決算日は8月31日であります。中間連結財務諸表の作成にあたっては同日現在の中間財務諸表を使用し、中間連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っています。

##### 4 . 会計処理基準に関する事項

###### (1)重要な資産の評価基準及び評価方法

###### (I) 有価証券

###### その他有価証券

時価のあるもの..... 中間決算末日の市場価格等に基づく時価法

( 評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は主として移動平均法により算定 )

時価のないもの..... 移動平均法による原価法

###### (II) デリバティブ..... 時価法

###### (III) たな卸資産

製品・商品・仕掛品..... 主として先入先出法による原価法

原料・貯蔵品..... 主として移動平均法による原価法

(2)重要な減価償却資産の減価償却方法

有形固定資産

建物（除く建物付属設備）	
及び貸与資産の一部.....	定額法
その他の有形固定資産.....	定率法

無形固定資産

ソフトウェア.....	利用可能期間(5年)に基づく定額法
その他無形固定資産.....	定額法

(3)重要な引当金の計上基準

貸倒引当金.....	一般債権については貸倒実績率による見積額を、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、計上しています。
賞与引当金.....	従業員の賞与支給に備えるため、その支給見込額のうち当中間連結会計期間の負担額を計上しています。
退職給付引当金.....	従業員の退職給付に備えるため、主として当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間連結会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。 会計基準変更時差異については、当社及び連結子会社1社は10年による按分額を、その他の連結子会社は適用初年度にて全額を費用処理しております。 数理計算上の差異及び過去勤務債務については、当社はその発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(10年)による定額法により、連結子会社は発生時に費用処理しております。 なお、数理計算上の差異については、それぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理しております。
役員退職慰労引当金.....	当社は役員及び執行役員の退職により支給する退職慰労金に充てるため、各々の支給内規に基づく中間期末要支給額相当額を計上しています。 また、役員退職慰労金規定のある連結子会社は、支給内規に基づく中間期末要支給額相当額を計上しています。

(4)重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

(5)重要なリース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(6)重要なヘッジ会計の方法

ヘッジ会計の方法.....	外貨建予定取引については繰延ヘッジ処理によっております。 なお、金利スワップについては特例処理によっております。	
ヘッジ手段とヘッジ対象	<u>ヘッジ手段</u>	<u>ヘッジ対象</u>
	為替予約、通貨オプション	外貨建予定取引
	金利スワップ	借入金、債券
ヘッジ方針.....	主として当社内部規定に基づき、原料輸入に係る為替変動リスク及び借入金等に係る金利変動リスクをヘッジしております。	

(7)その他中間連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理..... 税抜方式によっております。

5. 中間連結キャッシュ・フロ - 計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期的な投資からなっています。

(貸借対照表関係)

当中間連結会計年度 (平成15年9月30日)	前連結会計年度 (平成15年3月31日)	前中間連結会計年度 (平成14年9月30日)																																																																																																																																																															
<p>1 有形固定資産減価償却累計額 147,347 百万円</p> <p>2 担保資産 (1) 短期借入金 1百万円の担保として財団抵当に提供しているのは次のとおりです。</p> <table border="1"> <tr><td>建物及び構築物</td><td>23,519</td></tr> <tr><td>機械装置及び運搬具</td><td>14,773</td></tr> <tr><td>土地</td><td>1,878</td></tr> <tr><td>計</td><td>40,171</td></tr> </table> <p>(2) 短期借入金755百万円、長期借入金 65百万円、預り敷金返還債務2,202百万円、買掛債務4百万円の担保に供しているものは次のとおりです。</p> <table border="1"> <tr><td>建物及び構築物</td><td>3,930</td></tr> <tr><td>機械装置及び運搬具</td><td>2,046</td></tr> <tr><td>土地</td><td>1,323</td></tr> <tr><td>投資有価証券</td><td>23</td></tr> <tr><td>投資その他の資産 「その他」</td><td>16</td></tr> <tr><td>計</td><td>7,339</td></tr> </table> <p>3 偶発債務 保証債務</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>相手先</th><th>摘要</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>(関係会社)</td><td></td><td>百万円</td></tr> <tr><td>スリソテザート(株)他 2件</td><td>銀行借入金等</td><td>337</td></tr> <tr><td>(取引先関係) (有)浅田農産他 19件</td><td>銀行借入金等</td><td>748</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>1,086</td></tr> </tbody> </table> <p>保証予約</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>相手先</th><th>摘要</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>(関係会社)</td><td></td><td>百万円</td></tr> <tr><td>田中製餡(株)</td><td>銀行借入金</td><td>500</td></tr> </tbody> </table> <p>経営指導念書</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>相手先</th><th>摘要</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>(関係会社)</td><td></td><td>百万円</td></tr> <tr><td>鹿島サイロ(株)</td><td>銀行借入金</td><td>143</td></tr> </tbody> </table> <p>(注)保証債務のうち当社負担額を記載しております。</p>	建物及び構築物	23,519	機械装置及び運搬具	14,773	土地	1,878	計	40,171	建物及び構築物	3,930	機械装置及び運搬具	2,046	土地	1,323	投資有価証券	23	投資その他の資産 「その他」	16	計	7,339	相手先	摘要	金額	(関係会社)		百万円	スリソテザート(株)他 2件	銀行借入金等	337	(取引先関係) (有)浅田農産他 19件	銀行借入金等	748	計		1,086	相手先	摘要	金額	(関係会社)		百万円	田中製餡(株)	銀行借入金	500	相手先	摘要	金額	(関係会社)		百万円	鹿島サイロ(株)	銀行借入金	143	<p>1 有形固定資産減価償却累計額 144,882 百万円</p> <p>2 担保資産 (1) 短期借入金 1百万円の担保として財団抵当に提供しているのは次のとおりです。</p> <table border="1"> <tr><td>建物及び構築物</td><td>24,102</td></tr> <tr><td>機械装置及び運搬具</td><td>15,537</td></tr> <tr><td>土地</td><td>1,878</td></tr> <tr><td>計</td><td>41,517</td></tr> </table> <p>(2) 短期借入金823百万円、長期借入金102百万円、預り敷金返還債務2,202百万円、買掛債務2百万円の担保に供しているものは次のとおりです。</p> <table border="1"> <tr><td>建物及び構築物</td><td>4,002</td></tr> <tr><td>機械装置及び運搬具</td><td>2,133</td></tr> <tr><td>土地</td><td>1,158</td></tr> <tr><td>投資有価証券</td><td>15</td></tr> <tr><td>投資その他の資産 「その他」</td><td>15</td></tr> <tr><td>計</td><td>7,324</td></tr> </table> <p>3 偶発債務 保証債務</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>相手先</th><th>摘要</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>(関係会社)</td><td></td><td>百万円</td></tr> <tr><td>田中製餡(株)他 1件</td><td>銀行借入金等</td><td>41</td></tr> <tr><td>(取引先関係) (有)浅田農産他 16件</td><td>銀行借入金等</td><td>678</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>720</td></tr> </tbody> </table> <p>保証予約</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>相手先</th><th>摘要</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>(関係会社)</td><td></td><td>百万円</td></tr> <tr><td>田中製餡(株)</td><td>銀行借入金</td><td>500</td></tr> </tbody> </table> <p>経営指導念書</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>相手先</th><th>摘要</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>(関係会社)</td><td></td><td>百万円</td></tr> <tr><td>鹿島サイロ(株)</td><td>銀行借入金</td><td>160</td></tr> </tbody> </table> <p>(注)同左</p>	建物及び構築物	24,102	機械装置及び運搬具	15,537	土地	1,878	計	41,517	建物及び構築物	4,002	機械装置及び運搬具	2,133	土地	1,158	投資有価証券	15	投資その他の資産 「その他」	15	計	7,324	相手先	摘要	金額	(関係会社)		百万円	田中製餡(株)他 1件	銀行借入金等	41	(取引先関係) (有)浅田農産他 16件	銀行借入金等	678	計		720	相手先	摘要	金額	(関係会社)		百万円	田中製餡(株)	銀行借入金	500	相手先	摘要	金額	(関係会社)		百万円	鹿島サイロ(株)	銀行借入金	160	<p>1 有形固定資産減価償却累計額 142,570 百万円</p> <p>2 担保資産 (1) 短期借入金 1百万円の担保として財団抵当に提供しているのは次のとおりです。</p> <table border="1"> <tr><td>建物及び構築物</td><td>24,166</td></tr> <tr><td>機械装置及び運搬具</td><td>16,025</td></tr> <tr><td>土地</td><td>1,878</td></tr> <tr><td>計</td><td>42,069</td></tr> </table> <p>(2) 短期借入金1,003百万円、長期借入金161百万円、預り敷金返還債務2,466百万円、買掛債務7百万円の担保に供しているものは次のとおりです。</p> <table border="1"> <tr><td>建物及び構築物</td><td>4,069</td></tr> <tr><td>機械装置及び運搬具</td><td>2,177</td></tr> <tr><td>土地</td><td>1,154</td></tr> <tr><td>投資有価証券</td><td>18</td></tr> <tr><td>投資その他の資産 「その他」</td><td>10</td></tr> <tr><td>計</td><td>7,430</td></tr> </table> <p>3 偶発債務 保証債務</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>相手先</th><th>摘要</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>(関係会社)</td><td></td><td>百万円</td></tr> <tr><td>田中製餡(株)他 1件</td><td>銀行借入金等</td><td>46</td></tr> <tr><td>(取引先関係) (有)浅田農産他 11件</td><td>銀行借入金等</td><td>556</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>602</td></tr> </tbody> </table> <p>保証予約</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>相手先</th><th>摘要</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>(関係会社)</td><td></td><td>百万円</td></tr> <tr><td>田中製餡(株)</td><td>銀行借入金</td><td>500</td></tr> </tbody> </table> <p>経営指導念書</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>相手先</th><th>摘要</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>(関係会社)</td><td></td><td>百万円</td></tr> <tr><td>鹿島サイロ(株)</td><td>銀行借入金</td><td>236</td></tr> </tbody> </table> <p>(注)同左</p>	建物及び構築物	24,166	機械装置及び運搬具	16,025	土地	1,878	計	42,069	建物及び構築物	4,069	機械装置及び運搬具	2,177	土地	1,154	投資有価証券	18	投資その他の資産 「その他」	10	計	7,430	相手先	摘要	金額	(関係会社)		百万円	田中製餡(株)他 1件	銀行借入金等	46	(取引先関係) (有)浅田農産他 11件	銀行借入金等	556	計		602	相手先	摘要	金額	(関係会社)		百万円	田中製餡(株)	銀行借入金	500	相手先	摘要	金額	(関係会社)		百万円	鹿島サイロ(株)	銀行借入金	236
建物及び構築物	23,519																																																																																																																																																																
機械装置及び運搬具	14,773																																																																																																																																																																
土地	1,878																																																																																																																																																																
計	40,171																																																																																																																																																																
建物及び構築物	3,930																																																																																																																																																																
機械装置及び運搬具	2,046																																																																																																																																																																
土地	1,323																																																																																																																																																																
投資有価証券	23																																																																																																																																																																
投資その他の資産 「その他」	16																																																																																																																																																																
計	7,339																																																																																																																																																																
相手先	摘要	金額																																																																																																																																																															
(関係会社)		百万円																																																																																																																																																															
スリソテザート(株)他 2件	銀行借入金等	337																																																																																																																																																															
(取引先関係) (有)浅田農産他 19件	銀行借入金等	748																																																																																																																																																															
計		1,086																																																																																																																																																															
相手先	摘要	金額																																																																																																																																																															
(関係会社)		百万円																																																																																																																																																															
田中製餡(株)	銀行借入金	500																																																																																																																																																															
相手先	摘要	金額																																																																																																																																																															
(関係会社)		百万円																																																																																																																																																															
鹿島サイロ(株)	銀行借入金	143																																																																																																																																																															
建物及び構築物	24,102																																																																																																																																																																
機械装置及び運搬具	15,537																																																																																																																																																																
土地	1,878																																																																																																																																																																
計	41,517																																																																																																																																																																
建物及び構築物	4,002																																																																																																																																																																
機械装置及び運搬具	2,133																																																																																																																																																																
土地	1,158																																																																																																																																																																
投資有価証券	15																																																																																																																																																																
投資その他の資産 「その他」	15																																																																																																																																																																
計	7,324																																																																																																																																																																
相手先	摘要	金額																																																																																																																																																															
(関係会社)		百万円																																																																																																																																																															
田中製餡(株)他 1件	銀行借入金等	41																																																																																																																																																															
(取引先関係) (有)浅田農産他 16件	銀行借入金等	678																																																																																																																																																															
計		720																																																																																																																																																															
相手先	摘要	金額																																																																																																																																																															
(関係会社)		百万円																																																																																																																																																															
田中製餡(株)	銀行借入金	500																																																																																																																																																															
相手先	摘要	金額																																																																																																																																																															
(関係会社)		百万円																																																																																																																																																															
鹿島サイロ(株)	銀行借入金	160																																																																																																																																																															
建物及び構築物	24,166																																																																																																																																																																
機械装置及び運搬具	16,025																																																																																																																																																																
土地	1,878																																																																																																																																																																
計	42,069																																																																																																																																																																
建物及び構築物	4,069																																																																																																																																																																
機械装置及び運搬具	2,177																																																																																																																																																																
土地	1,154																																																																																																																																																																
投資有価証券	18																																																																																																																																																																
投資その他の資産 「その他」	10																																																																																																																																																																
計	7,430																																																																																																																																																																
相手先	摘要	金額																																																																																																																																																															
(関係会社)		百万円																																																																																																																																																															
田中製餡(株)他 1件	銀行借入金等	46																																																																																																																																																															
(取引先関係) (有)浅田農産他 11件	銀行借入金等	556																																																																																																																																																															
計		602																																																																																																																																																															
相手先	摘要	金額																																																																																																																																																															
(関係会社)		百万円																																																																																																																																																															
田中製餡(株)	銀行借入金	500																																																																																																																																																															
相手先	摘要	金額																																																																																																																																																															
(関係会社)		百万円																																																																																																																																																															
鹿島サイロ(株)	銀行借入金	236																																																																																																																																																															

## (損益計算書関係)

当中間連結会計期間 自 平成15年4月 1日 至 平成15年9月30日	前中間連結会計期間 自 平成14年4月 1日 至 平成14年9月30日	前連結会計年度 自 平成14年4月 1日 至 平成15年3月31日
1 販売費及び一般管理費のうち主なものは、次のとおりであります。	1 販売費及び一般管理費のうち主なものは、次のとおりであります。	1 販売費及び一般管理費のうち主なものは、次のとおりであります。
百万円	百万円	百万円
イ 発送配達費 5,084	イ 発送配達費 5,152	イ 発送配達費 10,192
ロ 販売諸費 411	ロ 販売諸費 343	ロ 販売諸費 770
ハ 広告宣伝費 605	ハ 広告宣伝費 722	ハ 広告宣伝費 1,323
ニ 社員給料 2,227	ニ 社員給料 2,238	ニ 社員給料 4,445
ホ 賞与金 261	ホ 賞与金 296	ホ 賞与金 1,253
ヘ 賞与引当金繰入額 603	ヘ 賞与引当金繰入額 653	ヘ 賞与引当金繰入額 615
ト 減価償却費 823	ト 減価償却費 850	ト 減価償却費 1,739
チ 退職給付費用 472	チ 退職給付費用 460	チ 退職給付費用 844
リ 役員退職慰労引当金繰入額 76	リ 役員退職慰労引当金繰入額 96	リ 役員退職慰労引当金繰入額 165
ヌ 貸倒引当金繰入額 53		ヌ 貸倒引当金繰入額 71
2 _____	2 固定資産売却益の主な内容は、土地の売却によるものであります。	2 同左
3 固定資産売却損の主な内容は、土地の売却によるものであります。	3 _____	3 _____
4 特別退職金は、連結子会社の早期退職者割増金であります。	4 _____	4 _____
5 _____	5 _____	5 前期損益修正損の内容は次のとおりです。 連結子会社の、売買取引における過年度売上高の修正によるものであります。

## (連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当中間連結会計期間 自 平成15年4月 1日 至 平成15年9月30日	前中間連結会計期間 自 平成14年4月 1日 至 平成14年9月30日	前連結会計年度 自 平成14年4月 1日 至 平成15年3月31日
現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
百万円	百万円	百万円
現金及び預金勘定 2,907	現金及び預金勘定 3,214	現金及び預金勘定 3,868
計 2,907	計 3,214	計 3,868
預入期間が3か月を超える定期預金 50	預入期間が3か月を超える定期預金 -	預入期間が3か月を超える定期預金 -
現金及び現金同等物 <u>2,857</u>	現金及び現金同等物 <u>3,214</u>	現金及び現金同等物 <u>3,868</u>

(リース関係取引)

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引

(1) 借手側

リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末(期末)残高相当額

	(当中間連結会計年度)			(前中間連結会計年度)			(前連結会計年度)		
	機械装置 及び運搬具(工具器具備品)	その他	合計	機械装置 及び運搬具(工具器具備品)	その他	合計	機械装置 及び運搬具(工具器具備品)	その他	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
取得価額相当額	557	887	1,445	546	1,048	1,594	573	1,123	1,697
減価償却累計額相当額	343	517	860	314	594	908	350	679	1,030
期末残高相当額	214	370	585	231	453	685	223	443	667

未経過リース料中間期末(期末)残高相当額

	(当中間連結会計年度)		(前中間連結会計年度)		(前連結会計年度)	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
1年以内	275	( 81)	260	( 25)	317	( 81)
1年超	667	( 276)	505	( 54)	747	( 317)
合計	942	( 357)	766	( 80)	1,065	( 398)

(注)上記の( )内書は、転貸リースに係る未経過リース料中間期末(期末)残高相当額です。

支払リース料及び減価償却費相当額

	(当中間連結会計期間)		(前中間連結会計期間)		(前連結会計年度)	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
支払リース料	129		134		259	
減価償却費相当額	129		134		259	

(注)上記金額は、「支払利子込み法」により算定しています。

減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっています。

(2) 貸手側

リース物件の取得価額、減価償却累計額及び中間期末(期末)残高

	(当中間連結会計年度)			(前中間連結会計年度)			(前連結会計年度)		
	機械装置 及び運搬具(工具器具備品)	その他	合計	機械装置 及び運搬具(工具器具備品)	その他	合計	機械装置 及び運搬具(工具器具備品)	その他	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
取得価額	221	63	285	427	84	511	430	93	524
減価償却累計額	131	43	174	313	70	383	332	74	406
期末残高	90	20	110	114	13	127	98	19	117

未経過リース料中間期末(期末)残高相当額

	(当中間連結会計年度)		(前中間連結会計年度)		(前連結会計年度)	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
1年以内	127	( 82)	80	( 26)	127	( 82)
1年超	358	( 277)	135	( 57)	388	( 319)
合計	486	( 360)	215	( 84)	516	( 401)

(注)上記の( )内書は、転貸リースに係る未経過リース料中間期末(期末)残高相当額です。

受取リース料及び減価償却費

	(当中間連結会計期間)		(前中間連結会計期間)		(前連結会計年度)	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
受取リース料	26		45		77	
減価償却費	17		22		45	

(注)上記金額は、「受取利子込み法」により算定しています。

## 5. セグメント情報

### 1. 事業の種類別セグメント情報

当中間連結会計期間

(百万円未満切捨て)

平成15年4月1日～平成15年9月30日	食品	飼料	その他	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	66,465	20,274	3,243	89,983	-	89,983
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,438	85	1,229	2,753	(2,753)	-
計	67,904	20,359	4,473	92,737	(2,753)	89,983
営業費用	66,679	20,269	2,659	89,608	(1,973)	87,635
営業利益	1,224	90	1,814	3,128	(780)	2,348

前中間連結会計期間

平成14年4月1日～平成14年9月30日	食品	飼料	その他	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	66,551	21,113	3,668	91,332	-	91,332
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,570	75	1,103	2,749	(2,749)	-
計	68,121	21,188	4,771	94,082	(2,749)	91,332
営業費用	67,671	21,116	2,734	91,522	(1,892)	89,629
営業利益	449	72	2,037	2,559	(856)	1,703

前連結会計年度

平成14年4月1日～平成15年3月31日	食品	飼料	その他	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	131,593	44,180	7,173	182,947	-	182,947
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	3,251	108	2,182	5,541	(5,541)	-
計	134,844	44,288	9,356	188,489	(5,541)	182,947
営業費用	134,742	44,080	5,468	184,290	(3,983)	180,307
営業利益	102	207	3,888	4,198	(1,557)	2,640

(注)1. 事業区分は、売上集計区分によっています。

2. 各事業の主な製品

- (1)食品...小麦粉、ミックス、パスタ、植物油、脱脂大豆、コ-ンスタ-チ、ぶどう糖、冷凍食品等
- (2)飼料...配合飼料、単味飼料、鶏卵他畜産物等
- (3)その他...倉庫業(荷役・保管等)、事業用・商業用ビル等賃貸、保険代理業、自動車等リース業等

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は以下のとおりであります。  
なお、その主なものは企業集団の広告に要した費用、基礎的試験研究費です。

当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度
740 百万円	817 百万円	1,479 百万円

### 2. 所在地別セグメント情報

本国以外の国又は地域に所在する連結子会社がないため、記載を省略しています。

### 3. 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満のため記載を省略しています。

## 6. 生産、受注及び販売の状況

### 1. 生産実績

(百万円未満切捨て)

事業の種類別セグメントの名称	当中間連結会計期間	前年同期比
食 品 事 業	44,290	0.1%
飼 料 事 業	10,028	0.7%
合 計	54,318	0.2%

- (注) 1. 金額は製造原価によっており、セグメント間の取引については相殺消去しております。  
 2. 当該内容は、製品ベ - スの生産実績によっております。  
 なお、その他事業は生産活動を行っていないため、記載しておりません。

### 2. 受注実績

当グループは、受注生産を行っておりません。

### 3. 販売実績

(百万円未満切捨て)

事業の種類別セグメントの名称	当中間連結会計期間	前年同期比
食 品 事 業	66,465	0.1%
飼 料 事 業	20,274	4.0%
そ の 他 事 業	3,243	11.6%
合 計	89,983	1.5%

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
 2. 総販売実績に対する輸出高の割合が10%未満のため、記載を省略しております。  
 3. 総販売実績に対する主要な取引先の販売実績の割合が10%未満のため、記載を省略しております。

## 7. 有価証券

### 時価のあるその他有価証券

(百万円未満切捨て)

区 分 \ 期 別	当中間連結会計年度 (平成 15年 9月 30日現在)			前中間連結会計年度 (平成 14年 9月 30日現在)			前連結会計年度 (平成 15年 3月 31日現在)		
	取得原価	中間連結貸借 対照表計上額	差 額	取得原価	中間連結貸借 対照表計上額	差 額	取得原価	連結貸借 対照表計上額	差 額
(1)株 式	4,465	6,903	2,438	7,523	7,611	87	4,690	5,268	578
(2)債 券	507	507	0	507	494	12	507	500	6
合 計	4,972	7,411	2,438	8,030	8,106	75	5,198	5,769	571

- (注) 1. 前中間連結会計年度において、その他有価証券で時価のある株式について14百万円減損処理を行っています。  
2. 前連結会計年度において、その他有価証券で時価のある株式について2,153百万円減損処理を行っています。

### 時価評価されていない主な有価証券

(百万円未満切捨て)

区 分 \ 期 別	当中間連結会計年度 (平成 15年 9月 30日現在)	前中間連結会計年度 (平成 14年 9月 30日現在)	前連結会計年度 (平成 15年 3月 31日現在)
	中間連結貸借対照表計上額	中間連結貸借対照表計上額	連結貸借対照表計上額
その他有価証券			
(1)非上場株式 (店頭売買株式を除く) (うち関係会社株式)	2,976 (1,933)	2,381 (1,798)	3,003 (1,924)
(2)その他	620	693	630
合 計	3,597	3,074	3,633

## 8.デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

### (通貨関連)

(百万円未満切捨て)

種 類	当中間連結会計年度 (平成15年9月30日現在)				前中間連結会計年度 (平成14年9月30日現在)				前連結会計年度 (平成15年3月31日現在)			
	契約額等		時 価	評価損益	契約額等		時 価	評価損益	契約額等		時 価	評価損益
		1年超				1年超				1年超		
為替予約取引 買 建 米 ド ル	813	-	775	37	314	-	330	15	814	-	828	13
通貨オプション取引 買 建 コ ー ル 米 ド ル	272 (4)	- (-)	0	4	- (-)	- (-)	-	-	504 (9)	- (-)	9	0
合 計	1,085 (4)	- (-)	776	41	314 (-)	- (-)	330	15	1,319 (9)	- (-)	838	13

(注) 1.時価の算定方法

為替予約取引 ...先物為替相場によっています。

通貨オプション取引 ...契約を締結している取引銀行から提示された価格によっています。

2.「外貨建取引等会計処理基準」により外貨建金銭債権債務等に振り当てたデリバティブ取引については、注記の対象から除いています。

3.ヘッジ会計を適用している取引については、注記の対象から除いています。

4.通貨オプション取引における括弧書きは、連結貸借対照表に計上した支払オプション料です。

### (金利関連)

(百万円未満切捨て)

種 類	当中間連結会計年度 (平成15年9月30日現在)				前中間連結会計年度 (平成14年9月30日現在)				前連結会計年度 (平成15年3月31日現在)			
	契約額等		時 価	評価損益	契約額等		時 価	評価損益	契約額等		時 価	評価損益
		1年超				1年超				1年超		
金利スワップ取引 受取変動 支払固定	-	-	-	-	500	-	4	4	-	-	-	-
合 計	-	-	-	-	500	-	4	4	-	-	-	-

(注) 1.時価の算定方法...契約を締結している取引銀行から提示された価格によっています。

2.ヘッジ会計の「特例処理」を適用している取引については、注記の対象から除いています。

## 9. 1株当り情報

当中間連結会計期間 自 平成15年4月 1日 至 平成15年9月30日	前中間連結会計期間 自 平成14年4月 1日 至 平成14年9月30日	前連結会計期年度 自 平成14年4月 1日 至 平成15年3月31日
1株当り純資産額 236.60 円	1株当り純資産額 238.20 円	1株当り純資産額 228.96 円
1株当り中間純利益 4.58 円	1株当り中間純利益 3.71 円	1株当り当期純利益 - 円
1株当り中間純損失 - 円	1株当り中間純損失 - 円	1株当り当期純損失 4.17 円

- (注) 1 潜在株式調整後 1株当り中間(当期)純利益は、潜在株式がないため記載していない。  
 2 当中間連結期間における 1株当り中間純利益の算定上の基礎は、以下の通りである。
- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 中間連結損益計算書上の中間純利益   | 818 百万円       |
| 普通株式に係る中間純利益       | 818 "         |
| 普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 | 該当事項無し        |
| 普通株式の期中平均株式数       | 178,733,846 株 |